

秋の芸術鑑賞会

10/1（木）秋の芸術鑑賞会が本校体育館にて行われました。
過去2年間は文化ホールで行われていたことは知ってはいましたが、
体育館ならば行きやすいので今回は取材をお願いしてみました。
今年は古典芸能とのこと。落語は古今亭菊志んさんとジャンボ衣笠さん。
大神楽は柳貴家雪之介さんという若手の方がいらしてくださいました。



まずは、菊志んさんによる、落語を観る（聴く）上での決まりごとなどの説明。

たとえば、小物として扇子や
日本てぬぐいを必ず持っている
噺家さんたち。

扇子は、箸やキセルの役割も果たし、
手ぬぐいは財布の変わりにもなったりと
小物を使い分け、1人で2役以上を演じ
分けるという伝統芸能だということを
学びました。

生徒にも体験させてくれたりと、楽しく
分かりやすい説明で、みんなもとても楽し
そうでした。

そして、先生代表で、山本先生が
女性らしい仕草を実演。
右のイヤリングを触るのもわざと
左の手で触ると、女らしさが表現
出来るというお話。

外見が男らしい山本先生だからこそ
これまたオモシロイ！



次に登場されたのはジャンボ衣笠さん。
その名の通り生粋のカープファンの方なのでしょう。
広島弁の落語を初めて聴きました。

方言の意味がわかる県民ならば、これはこれで
親しみがあって尚のことオモシロイ！
馴染みやすいです。



柳貴家雪之介さんの大神楽は、とても見ごたえの
あるものでした。
子ども達も参加させてもらったりもしました。



包丁の上に包丁って、、、その上は
お皿??
意味分りません。。。泣

伝承される技は、血の滲むような練習の
賜物なんだうなあと勝手に想像して
鳥肌もんでした。

柳貴家雪之介さんは個人ブログされている模様。
呉港のことも、この日書いてくださっていました。
<http://ameblo.jp/yukinosuke4649/day-20151001.html>
twitterでは、直接、雪之介さんにお礼を言っていた生徒さんも見受けられました。

初めて、芸術鑑賞会に参加させてもらいましたが、やはりライブは臨場感があって
いい！です。とても楽しめました。タダで見せてもらって申し訳ないくらいです。

子ども達も今後、テレビで落語など伝統芸能を目にする機会があったら
きっと、今までよりも楽しめることと思います。今回、聴くだけでは
なく、成り立ちや作法、流れを事前に学習してから観るホンモノの
芸能は、子ども達にとっても違ったものを感じられたのでは
ないかと思います。



芸術鑑賞会の記事が終わったように見せかけて記事はまだ続いたりして・・・
ジツはこのことをみなさんに伝えたかった！
体育館の2階から写真を撮っていたのですが、笑いが巻き起こるときにふと
気づいてしまったのでございます。
校長先生がめっちゃ、笑っているということを・・・



パッと見わかりづらい
かもしれませんが、

単にウケている・・・と
いうワケではない。
身体全体で笑っている
ということに気づいて
しまったのでござい
ます。



不運でしたねえ。
校長先生・・・

それからというもの、校長先生がどんなポイントでどんな風に笑うのか、気になって気になって仕方ありませんでした。
まるで校長先生の追っかけのように、写真を撮ってしまったのも言うまでもありません。
帰宅して、画像を見てみたら全部で15枚も撮ってました。校長先生の笑う姿だけで・・・（盗撮で訴えられたらどうしよう・・・）



みなさんが日頃、目にしている校長先生は、左の写真のような、厳格な難しいことを
喋ってるイメージだろと思いますが、何が何が、おかしくて、涙まで出て
しまう校長先生でもあったのでございます。それだけ楽しい鑑賞会だったと
いうことなんですけどね。
以上、校長先生の一面でした！



広島県高等学校PTA連合会広島県大会

『授命協生』～今、生かされていることに感謝 今の幸せに感謝 その応援に感謝！！～

10/18（日）呉文化ホールにてP連広島県大会が開催されました。

我が校の教育後援会会長の盛谷氏が、呉地区公立高等学校生活指導連合会の会長も兼任されていることもあり、呉港高校が協賛校となり、本校のブラスバンド部がアトラクションのトップバッターとして、参加させていただくことになりました。

この大会は、青少年が若くして自らの命を絶ったり、短絡的な一時の感情で人を殺めるといった通常では想像しがたい残念な事件が多発している昨今、いま一度原点に帰って『私たちが授かった命の尊さや重厚さ』を考えるとともに、私たちが生かされていることの意味、当たり前のように日常生活を送っていることの意味を改めて考える場として、開催されました。

事例発表は、西条農業高等学校から、そして、もう1つのアトラクションとして、宮原高等学校ダンス部のみなさんのパフォーマンスもあり、全国レベルのダンスに大盛況でした。

そのほか、呉特別支援学校のみなさんと、呉商業高等学校のみなさんの作品展示や商品販売など、県あげての大きな大会のお手伝いをさせてもらったという報告です。

準備～リハーサル風景



ブラスバンド部のみなさんは、前日のリハーサルから始まり、今日も朝から舞台準備から始めます。。

私たち役員も指示されるがまま、動くのみです。
なにせ、時間との戦いでもありますから。

連日でお疲れだと思います。
先生も生徒たちも・・・
朝早くから夜遅くまでご苦労さまです。それを支えてるのは家族の愛ですよ。

部員のみなさんは、手馴れたものであっという間に準備も整いました。



呉港の演奏時間は30分。
リハもきっちり30分通して行いました。

リハなので、横山先生も指示を出しながらの演奏です。

リハーサルから立ち会えるなんて、ラッキー♪です。
生音好きの私にはたまらないまさにご褒美をもらったようなものです。



何が、スゴイかって、リハならこういうアングルで撮ることも許されるワケで・・・

すごいなあ。こういう景色で演奏するんだああ。
と感心してしまいました。



どうやら、今回の選曲はクラシックよりもJ-POPが主で、聴いていて楽しい口ずさめる曲ばかりで、なかなか年齢層を汲んでくれてらっしゃる。。
さすが横山先生。
J-POPメドレーは自分も歌える歌ばかりで。
生演奏でカラオケ状態・・・
なんて、贅沢な。。 幸せなひと時でした。

↑ 朝ドラ『マッサン』の「麦の唄」を熱唱する小林くん。客席をぐるりと一周します。これがまた上手い！



30分間のリハーサルを終え、控え室に戻る帰り道、他の学校の役員さんでしょうか・・・

偶然、隣あわせの歩調で歩いておりまして、、
『呉港のブラス、やばいね。上手すぎるわ・・・』という会話が聞こえてきました。それを聞いて、私もニヤニヤしてしまったのは、言うまでもありません。

本番演奏の様子



2階席までいっぱいになるほど
県内からPTAのみなさんが
集まっています。

そして、
いよいよ本番が始まりました。



ソロで吹く生徒さんたちも、堂々としてます。



自分にはよくわからないのですが、
スポットライトが当たってところ
で、ソロで吹くっていうのは、きっと
ドキドキしますよね。

歌謡部門のはじまりです。

朝ドラ『あまちゃん』の♪潮騒の
メロディーはデュエットで。

呉港のプラスバンドのいいところは
多種多様で聴いても見ても楽しい
ところだと思います。



朝ドラ『まれ』の主題歌
♪希空（そらまれ）は8人で。

そして『マッサン』の♪麦の唄
本番です。



見てのとおりに、客席を歌いながら1周
する間、参加されている保護者の方々から
握手を求められるほどの盛況ぶりでした。

勇気・激励・笑顔・歌唱・威風堂々
ハッシュタグをつけるとしたら
こんな感じです。



私たち役員も、及ばずながら
それまでは舞台裏で待機でしたが、
この時ばかりは、1番後ろ通路で
応援させていただきました。

会場が盛り上がるのを肌で
感じる事ができて楽しかったです。



最後の曲、♪情熱大陸メインテーマのはじまりです。



この曲は、パーカッションの迫力抜きでは語れません。
今回はOBの方々の賛助もキラリ光ります。☆☆☆



拍手大喝采のもと、演奏は終了！大成功でした。

ホッとしました。
なぜなら、リハーサル風景から見させてもらって、細かな手直しが結構な数、入ってるのをこの耳で聞きながら、正直ちょっと不安にも思っていたのですが、子ども達、**すご**いです。びっくりぽんでした。



演奏終了後、
3名の部員さんはインタビューを受けました。

ジツは緞帳が下がってからが私たち役員の本番でした。
インタビューされている数分間でステージ上の後片付けをするというのがこの日最大の任務だったのです。

この後は開会式ですから。



役員の事前の打ち合わせで、説明を受けて、頭が半ばパニック状態でも、予習をちゃんとしてくる役員もいて、朝みんなで復習しつつもなるようにしかなかった・・・という。泣

この緞帳の布の向こう側は時間と闘っていた役員と、いつもの動きをしてくれていた部員たちが働いてくれていたということです。



今日の1番！

楽器をトラックに皆で積み込む所も、初めて見せてもらいました。積み終わると、みんなが整列して代表の1人が言ったんです。
『**運転手さん、呉港高校まで楽器をよろしくお願ひします。**』
お願ひします。（全員で）



びっくりしました。感動しました。なんてステキな子たち。



そういう気持ち、これからも大事にしてね。



記念の1枚。OBさんも含め、みなさんお疲れさまでした。